



人間は何才くらいまで生きられるの

すべての生き物にはじゅ命がある

人間のじゅ命はだいたい才くらいとか、ゾウのじゅ命は才くらいとかいいますが、じゅ命というのは、何才くらいまで生きられるのかということで、今生まれたばかりの赤ちゃんが、この後何年生きられるかを、計算して出した年数のことです。正しくは、「0才児の平均余命」といいます。

平均余命は、アメリカ人ならアメリカで、日本人なら日本で、それぞれの国で計算されて出されます。それによると、日本の「0才児の平均余命」は女の人でおよそ82才、男の人でおよそ77才と、どちらも世界一長く、日本人は世界一長生きの人間といえます。

「限界じゅ命」と「最大じゅ命」

じゅ命には、平均余命とは別の点から研究したものもあります。それが、「限界じゅ命」と「最大じゅ命」といわれるものです。

「限界じゅ命」というのは、世界の人を全部いっしょにして研究し、人間があといくらくらい生きられそうかという点から、平均を出したもので、それによると、およそ95才まで、人間は生きられるという結果が出ています。また、「最大じゅ命」というのは、長生きの人だけにしぼって、もし、人間がいちばん長生きをしたら、何才まで生きられるかを予想するもので、それによると、人間は最長120才までは生きられるという、結果が出ています。ということで、人間は、何才くらいまで生きられるのかということになると、最長120才までは生きられるといえそうです。（監修・保志 宏）

